

祇園新橋地域のまちづくりをすすめる、ひとつの集まりとして「祇園新橋まちづくり部」は活動をしています。「祇園新橋まちづくりニュース」は、これからのまちづくりを皆様とともに考え、その取組をお知らせするニュースです。

第55回意見交換会のご案内

～上半期を振り返って～

【日時】2019年**6月11日(火) 1時30分～**

【場所】登希代の二階(大和大路新橋通上ル東側)

【申込】申込は不要です。気楽にご参加ください。

祇園新橋を大切に思う皆さまのご参加お待ちしております！

報告

祇園新橋景観づくり協議会 総会が開催されました

5/29(水)午前11時より、弥栄ふれあいサロンにおいて、祇園新橋景観づくり協議会の総会が開催されました。

会員80名のうち、出席者は57名(内、委任状は38名)で成立いたしました。

衆議院議員 繁本まもる氏、市会議員 平山たかお氏を始め、行政関係からも多くの来賓が出席され、祇園新橋のまちづくりへの関心の高さが伺われました。

昨年度の事業報告と決算、今年度の取組予定と予算が報告され、全員異議無く承認されました。

また、協議会幹事に加川貴章さんが選任されました。

承認された今年度の事業方針は以下のとおりです。

1. 祇園新橋景観づくり計画書に基づく事前協議の実施
2. 撮影マナー向上に向けた活動
3. 祇園新橋の風情を味わう空間の実現
4. 安心・安全対策の推進
5. 祇園新橋地区への出店規制
6. 観光客の受け入れ体制
7. 白川宵桜ライトアップ



伝統的な景観を保全しながら、安心安全で住みやすいまちづくりを進めるために引き続き努めてまいりたいと思います。

皆様のご協力、よろしくお願いいたします。

報告

〈 東山消防署から感謝状が贈られました! 〉

4月17日の2度目の放火の際、初期消火に当たられたループサロンの前川さんと竹内さんに、京都市東山消防署から感謝状が贈られました。

地域の安全は皆様のご協力によって守られます!これからもよろしくお願いいたします!



京都新聞社提供

火災拡大防ぐ
男性に感謝状
東山消防署
伝統的建造物群保存
地区に指定されている
京都市東山区祇園新橋
地区で4月に発生した
火災で、適切な初期消
火により被害の拡大を
防いだとして、東山消
防署はこのほら男性二
人に感謝状を贈った。
現場近くにあるパー
の経営者前川純平さん
(95)と、従業員竹
内幸輔さん(32)。
前川さんは、4月17
日午前3時40分ごろ、
同区大和大路通新橋付
路で発生した火災に
近で発生した火災に皆
やにおいて気づき、す
ぐにホースを使って初
期消火を行った。竹内
さんは前川さんの指示
で119番通報をし
た。2人の迅速な行動
により被害が抑えられ
た。火災発生後、マッ
トなどを敷き、ただけ
で取った。
2人は消防署で吉田
豊喜長から感謝状を受
け取った。前川さんは
「伝統ある街並みと人
命を守ることででき
うれし、竹内さん
は「未然に被害を防い
で良かったと話した。
(吉永周平)

第 54 回意見交換会では、4 月に発生した放火事件を踏まえ、東山消防署の方から消火器と消火栓の使い方を学びました。

日頃から防災に対する意識が大切ですが、万が一の出火には初動時の適切な対応力が求められます。

いざというときに備え、身に付けておきたいですね！



5月14日(火)参加者は12名でした。

1.火災に備える！消防研修

〈東山消防署：川口氏から〉

- ・元吉町には、消火器と合わせ、伝建地区として市民消火栓が設置されている。
- ・祇園町南側でも市民消火栓があり、初期消火に役立った。

【消火器について】

- ・消火器には、メーターが付いた蓄圧式と、メーターのない加圧式があり、蓄圧式はバーを離せば消火剤の噴出は止まる。加圧式は一度レバーを握ると出続ける。
- ・消火剤が出るのは15秒ほど。短く感じるが、カウントすると意外と長いので、その間の対応が肝心。
- ・炎が天井まで上がると初期消火が難しいので、自分で消火が難しければ消防署を呼んでください。
- ・消火器の噴出距離は3～5mくらい。結構勢いがあるので、油火災では油の跳ねに気を付けて距離を取って。
- ・火に消火剤をかけるのではなく、火元を狙う。
- ・まずは「火事だ！」と周りに大声で知らせる。ピンを抜いて、レバーを握る。「ピンよし、レバーよし」と、声に出しながら動作を確認すると良い。
- ・保存できる期限は、消火剤は5年外側は8年ほど。中身だけ替えられる。
- ・初動対応が大事なので、消火器がどこにあるか普段の確認が大事。

【消火栓について】

- ・ホースの伸ばし方

- ①自分の身体の右側に置き、メス金具が下になるように立てる。
- ②オス金具を右手で持ち、左手はホースに添える。
- ③右足先でメス金具をおさえ（ボウリングみたいに）ホースを前方へ転がす。

- ・ホースは20m。白川南通までだと3本つなげなくてはならない。
- ・消火栓のところで開栓する人、途中で中継する人、筒先持って放水する人の3人必要。
- ・放水係は「準備よし、放水はじめ」の掛け声、中継係はそれを開栓係に伝える。
- ・消火器は簡単だが、消火栓はちゃんとやることを理解できてないと難しい。
- ・祇園新橋までなら東山消防署から5分くらいかかる。
- ・年1回は訓練をして、みんながやり方を習得して欲しい。



燃えやすいものを放置しない、ごみ置き場にセンサーライトをつける等、普段から防火に対する意識が大事です。



季節の話題

ゆらゆらと 白川渡る 蛍かな

5月19日、白川で今年の蛍が初めて観測(?)されました。昨年4月に蛍の餌となるカワニナを放流したり、毎年3月には白川のお掃除に取り組んでいます。これからも蛍が育つきれいな白川を守り続けていきたいですね！（写真が分かりづらいかもかもしれませんが、真ん中に丸く映っている光の点が蛍です。）



定例の意見交換会は毎月第2火曜日 13:30～15:00 場所：登希代の二階

お問合せ連絡先：永田（ゑり萬内） 075-525-0529